

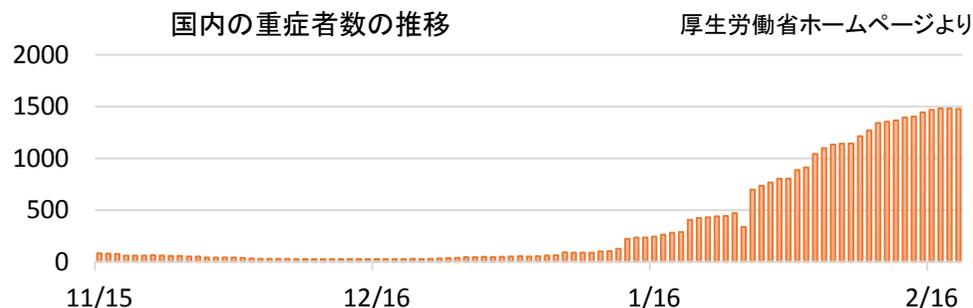


感染対策レター 第15号

川崎市健康福祉局 感染症対策課 TEL: 044-200-2343
Email: 40kansen@city.kawasaki.jp

新型コロナ老人福祉施設でもクラスター急増

川崎市内の入所、通所施設、住宅型施設など新型コロナウイルス感染症のクラスターは、約80件以上になっています。(1月～2月20日)施設利用者の半数以上が陽性になった施設もあります。重症者や死亡者も増えています。



神奈川県における中和抗体療法の取組み

高齢者施設で陽性者が発生した場合、施設の連携医師、県と連携している往診チームが施設へ往診して治療を行っています。



- 中和抗体療法とは
点滴治療を行います。
中和抗体薬がウイルスに結合して人の細胞に侵入するのをブロックすることで、軽症の患者に対して重症化を抑制します。

対象者 ゼビュディ (オミクロン株対応)

- 有症状者で投与の時点で7日以内 (発症日を0日とする)
- 酸素投与を必要としない (目安: SpO2 96%以上)
- 55歳以上または重症化リスク因子有 (注)

(注) 糖尿病 慢性呼吸器疾患 (気管支喘息や慢性閉塞性肺疾患)
 重度の心血管疾患 慢性腎臓病 肥満 (BMI 30以上) など
神奈川県のホームページ「中和抗体療法の取組み」を参照してください

ゾーニングの考え方 (新型コロナウイルスにおける)

- 汚染区域 (レッドゾーン)**
空気・環境にウイルスが存在する区域
隔離対象者が在居している部屋や陽性者の退出直後の居室が対象
- 準汚染区域 (イエローゾーン)**
ウイルスが存在する可能性がある区域
個人防護具を脱ぐ場所
- 清潔区域 (グリーンゾーン)**
ウイルスが存在しない区域
通常業務をする実施する場所

どのゾーンも床は汚染され散る可能性があると考え、清潔物を床に直接置かない。床の消毒などの過剰な対応は不要である (日常的な清掃で十分) 施設内ではシューズカバーは不要

陽性者の居室の管理

- 個室もしくはコホート (陽性者同士の同室)
在居している部屋や退出直後の居室はレッドゾーン
- 陽性者の居室は可能な限り換気し、入口のドアは必ず閉めます。(陰圧居室の場合は窓やドアは開けません。)
- 居室内のトイレかポータブルトイレの使用が基本です。
ポータブルトイレを利用できない場合は
 - * 共同トイレのなか所を陽性者専用トイレとします。
 - * 陽性者はサージカルマスクを着用し、トイレ以外の場所に触れないようにして居室に戻ってから洗面台で手を洗います。
 - * 介助者は個人防護具を着用します。
- 居室内のドア付近に感染性廃棄物を設置して、個人防護具の脱衣場所を設置します。



疑似症患者や濃厚接触者の居室の管理

- 疑似症患者は個室管理が必須。陽性者の個室管理に準じます。
- 濃厚接触者はコホート管理可ですが、部屋が異なる濃厚接触者が混在しないようにします。(濃厚接触者の発症リスクが異なることがあります)
<参考にしてください> (右のQRコードでもアクセス可能)
施設内療養時の対応の手引き 厚生労働省
<https://www.mhlw.go.jp/content/000783412.pdf>
集団感染が発生した病院・施設における支援活動
<https://www.mhlw.go.jp/content/000755259.pdf>

